



学校だより

調布市立調和小学校
令和7年9月30日(火)
校長 安藤 力也

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chowa-sho>

Mail: chowa-sho@chofu-schools.jp

OneTeam～心に残るスポフェスに～

校長 安藤 力也

2学期当初の厳しい残暑もやっとひと段落し、朝晩には、秋の訪れを感じさせる気候になってきました。子どもたちは、開催が10月11日(土)に迫ったスポーツフェスティバルに向けて、練習・準備に励んでいます。そんな子どもたちの中には、先日まで行われていた陸上世界選手権東京大会で活躍する選手たちに、自身のスポーツフェスティバルでの姿と重ね合わせながら、多くの刺激を受けた人もいないかと思えます。私もその一人です。毎日、テレビ放映にくぎ付けでした。超一流のアスリートたちが、その日のために人知れず積み上げてきた努力の成果をその一瞬にすべてを発揮すべく躍動する姿には、感動することしばしばでした。そして、私は競技前や競技中、競技後、選手たちの振る舞いや紡ぎだす言葉に注目するとともに、感銘を受けることが多くありました。中でも、男子棒高跳びでスウェーデン代表アルマンド・デュプランティス選手が金メダル、そして世界新記録を更新した場面は特に印象的でした。世界最高レベルの選手たちがしのぎを削り、メダル獲得を目指し競い合う場面では、ドキドキハラハラ、心が高鳴りましたが、私が注目したのはその後の選手たちの姿でした。

まずはデュプランティス選手。大会競技で金メダルを獲得することが、選手にとっての最大の目標ではないかと考えたとき、6m15cmの跳躍に成功して金メダルを獲得した時点での心身の状態は、ピークに達しているであろうと想像できます。しかし、そこから己をさらに奮い立たせ、世界新記録6m30cmという高みを目指して自身の限界突破に挑戦する精神力と技術には心動かされました。

そしてもう一つ、それまでメダルを目指し競い合っていた他の選手たちが、デュプランティス選手に対して示したその姿勢です。ライバルであり、戦い合う相手である選手たちが、世界新記録達成に向けて競技に向かうデュプランティス選手のサポートをしたり、観客に向けて声援を送るよう促したり、記録達成時には自分事のようにみんなで大喜びをしたりする姿には胸をうたれました。世界中を転戦し競い合う中で、同じ目標に向かって苦楽を共にし、ともに高め合うライバルが「最高の仲間」でもあったことが分かりました。

今年のスポーツフェスティバルのスローガンは「OneTeam～心に残るスポフェスに～」です。全力で自分自身の力を発揮し競い合う短距離走、動きと心を合わせて一つのもを作り上げる表現運動、全校児童で新記録達成に挑む全校長なわ。当日を迎えるまでに、目標に向かってともに努力を積み重ね合った仲間とともに、心に残る最高のスポーツフェスティバルを作り上げることを願っています。御多用中とは存じますが、スポーツフェスティバル当日は、来校いただき、子どもたちの努力を積み上げてきたプロセスに思いを馳せながら、きらきらと輝く子どもたちに温かい御声援をいただきますようよろしくお願いいたします。

【第4回学校運営協議会 報告】

◇日 時: 令和7年9月22日(月) 13時30分より

◇会 場: 本校会議室

◇出席者: 三浦伸幸(委員長)・浜中佳朗・平尾弥生・姫野由利子・安藤力也・佐久間信介(敬称略)

◇内 容: 学校の教育活動・現況報告・2学期の予定について

: R7度学校評価の取組と今後のスケジュールについて

: その他情報交換等